



建交労鉄道 岩手地本

2019年12月15日
NO 124号
発行責任者
須藤清成

望年会のお知らせ

師走になり、雪が降り着実に真冬の到来です。インフルエンザが流行との情報もあり、お体には気を付けて仕事に、組合活動に奮闘している皆様に敬意を評します。

今年は、及川さんの問題で農林支部組織混乱。宮古港湾支部の組織破壊による攻撃による組織滅、その中で組織を守るために立ち上がった宮古支部5名の団結に励されました。

また、32年間建設会社において組合を組織し奮闘した、山友建設支部が高齢組織となり円満組織解体と組織問題に明け暮れた建交岩手県本部の一年でした。組織分裂に対処した書記長昆茂太郎さんの奮闘。山友建設支部を長年支えてきた細川光巨さんをねぎらい、来年は組織拡大にする希望の年としく、望年会を下記の通り行います。年末の忙しい時期ではありますが、是非参加して頂きたいと思います。

記

日 時 12月28日（土）18時30分より

場 所 じゅあん

盛岡市菜園1-1-4-1 電話 019-1651-1076

費 用 1,000円（残りは県本部補助）

参加締め切り 12月23日（月）

連絡先 岩手県本部

書記長	昆茂太郎	090-1974-3124
鉄道	須藤清成	090-1974-3157
		71

黄緑の建交金臨時問屋東京が理

お知らせ

12月28日

建交労県本部 望年会

じゅあん 18時30分

1月4日

20春闇岩手県共闇会議

サンビル7階会議室

13時30分

20春闇旗開き

サンビル7階ホール

17時

1月6日

新嘗宣伝行動

旗開き 割烹酒場 TAGA 18時30分

1月18日

建交労岩手県本部春闇討論集会・旗開き

1月19日 春闇討論集会上田公民館 11時

1月26日

いわて労連53回評議会

水産会館 10時30分

いわて労連30周年記念レセプション
アートホテル 16時

職場に団結を！地域に統一を！

憲法9条改悪阻止、原発ゼロの実現、核兵器廃絶、米軍普天間基地即時撤去、辺野古基地建設阻止、平和と民主主義擁護、安倍暴走政治にストップをかけよう！



OB会参加者

2019年11月17日
第21回建交労鉄道
岩手地方本部大会が
八幡平ハイツにおいて
行われ、組織を存続するためにも協力組合員として頑張る
と80歳の方が参加し
ての大会でした。

大会には、来賓の
岩手県本部高橋委員長が、県本部では組織問題が発生しているが、組織を守るた

じめに立ち上がった若者を県本部が支えていく。岩手でもローカル線廃止ができる所は切り捨てられ、

JRが発足してから32年が経過し、各社の経営状況は大きな格差が鮮明となっています。組合が危惧し指摘をしてきた民営化の矛盾が深まり、不採算路線は切り捨てられました。駅の無人化・委託会社へ要員置き換えが進められ、安全に関する設備投資、職群の賃金が低く設

めに立ち上がりがつた若者を県本部が支えていく。岩手でもローカル線廃止ができる所は切り捨てられ、

JR東日本は、安

全よりも利益優先の姿勢で地域社会への貢献を放棄し、山田

三セクター鉄道にな

り運賃はたかくな

りました。弱者のた

めの運賃体制を求め

ていかなければなら

ない。

JR貨物「新人事

金制度」では、運

転士や検修・駅など

の現業機関で働く多

くの社員が滞在する

あなたの食べるパン・うどん

どこから來てるか知っている？

はるばる長い船旅で

海の向こうのアメリカ・豪州

大規模機械化農業で

取り入れ前に除草剤

早く乾かし痛みを防ぐが

小麦粉に残る農薬は

証明されてる発ガン物質

ガソリンで死ぬ人多い今

もしかすると原因はそこにも

ご意見歓迎 いの旬080-1548519708

あなたがお子さん

あなたがお孫さん

歴史と文化を巡る旅 九州旅行

十一月二十五日～三十日まで、盛岡から六名、水沢から七名、計十三名で九州に行つてきました。軍艦島や五島列島など、見どころ満載の旅となりました。

長崎では、九州鉄道本部・九州地本吉田眞勝委員長が会議の前に私たちのために長崎平和公園を案内してもらいました。会議終了後稻佐山夜景の案内してもらいました。有難うござります。

熊本城

大きな二台のクレー
園を歩いてみると、
地震で大変な被害
のあつた熊本城。天
守閣を修復している
のが見えました。周
囲を歩いてみると、
遠くからでも
無残に崩れている
所があちらこちらに
ありました。石垣も
かなり倒壊してしま
いました。城内は、
木造の建物が多
く、木の音が響いて
いました。城の外
は、まだ木造の建
物が多く、木の音
が響いていました。
城内は、まだ木造
の建物が多く、木の
音が響いていました。
城の外は、まだ木
造の建物が多く、木
の音が響いていま
した。

建交券着手県本部春闘討論集会・旗開き

日時 2019年1月18日(土)午後6時30分
場所 割烹酒場 TAGA(多賀)

春闌討論集会

執行部は10時から執行委員会を開催しますので、あわせてお願いします。



重拾良



平和祈念像



熊本城 天守閣を修復

は、最盛期は五千人を超える人々が住んでいたそうです。過酷な条件の海面下で常に危険と隣り合わせの採掘に従事していた人たちが、日本の近代化を支えたというのを胸に刻みました。

長崎原爆資料館

セージが展示されていました。

ハウステンボス

うと思いました。
この日は五島うどんも美味しく頂きました。民宿の「えびや」は、以前に網本だつただけあり、伊勢海老をはじめとして素晴らしい料理でした。

キリスト教徒の弾圧現在の状況など詳しく述べてもらいました。キリシタン迫害について書いた遠藤周作氏の「沈黙」も紹介されました。ついぶん昔に読んだことがありますたが内容は忘れていたので、また読んでみよ

言葉しか出ず、現代の文化の一つを今見ているという思いになりました。



五島列島中の浦教会

人間が健康に生きて行く為に¹²⁴

五感働く脳は若い
食べること(生きること)

自分自身で判断(情報収集、五感活用)
日々の積み重ねが脳の老化も予防する

ドアの開け閉めから、便座の上げ下ろしまで「自動」でしてくれ、便利この上なく大満足の現代。ふと不安になることがある。

何から今まで便利簡単になってしまって、電気一つ、携帯電話一つ、ガス一つでも止まってしまうと、私達は何もできなくなっているのではないでしょか。

社会は進歩しているが、ヒトはかえって怠け者になり、体も怠け者のからだになってしまって、本当にこのまま進んでよいのでしょうか。

知ってはいけない賞味期限のするい眞実

- 野菜ジュースの参加予防剤「ビタミンC」で骨粗鬆症になる。
 - 卵は加熱した方が賞味期限が短くなる。
 - 完全無添加は「保存料入り」より危険なことも

保存料不使用 =PH調整剤代用

過去に発がん性の高い添加物が使われていた保存料。「体に悪い」という意識も浸透している為か、近年は保存料や防腐剤に変わり「PH調整剤」という添加物が使われることが多い。

PH調整剤は、惣菜や市販の弁当、加工食品の変色・退色防止、腐敗防止などの目的で、食品のPHを酸性またはアルカリ性に保つために使われています。

そもそも、「PH調整剤」といっても特定の物質ではなく、クエン酸、クエン酸三ナトリウム、リン酸塩、炭酸ナトリウムなどを一括表示したものなのです。

多量に添加すると、腸内細菌の善玉菌を減らしてしまうということも言われています。

リン酸塩の過剰摂取は、腸管から血液中にカルシウムが吸収されるのを阻害します。

カルシウムが不足すると骨粗しょう症の原因になることや、イライラしてキレやすくなることも知られています。鉄分の吸収阻害も起こす為貧血になるケースも少なくありません。

「PH調整剤」と一括りにされている為、何か入っているか分からぬですが、リン酸塩が含まれる可能性が高いことは視野に入れておいたほうが良いでしよう。

pH調整剤が使われている食品

おにぎり、ジャム、サンドウィッチ、かまぼこ、デニッシュパン、乳製品などなど…

腐敗が心配される食品にはほぼ使用されています。

原発ゼロ NO 104

「民意を形にし、力に変える」運動

会本会議にて、県民投票条例案が自民・公明の反対多数で否決されました。

議会と知事は、11万県民の願いを受け入れず、県民が意思表示する機会を奪つた、その責任は非常に重たい。この先まもなく、女川原発2号機再稼働に同意するのか否か、知事と議会に問われるときが来る。そのときに、どうやって県民の民意を聞き取り、どういう答えを出すつもりなの

全面的に責任を負うと言つたことを意味する。この県民投票運動は女川原発2号機再稼働問題が、多くの県民の関心事となり、問題意識を持つこととなりました。立場表明や議論を避け、情報を与えずギリギリまで県民がこの問題に気付かないよう、関心が向かないようにしようという思惑は崩れ去りました。

今回の運動を土台にし、
て、「民意を力とし、
原発のことを決める」
運動を、さらに広く大
きく進めていきます。
一年余りに渡った県民
投票運動にひと区切り
がつきました。

女川麻子力規
事実上の「合格証」

大震災で被災した原発としては、日本原子力発電東海第二原発（茨城県）以来、2基目で全国では16基目となる。立地自治体の首長はこれまで明確に再稼働に反対を表明していない。一方で東日本大震災の被災地として県内では反対意見も根強く、地元理解に向けた課題は続く。

相手に、再稼働の事実上の前提となる地元同意の差し止めを求める、仮処分について、市民団体「女川原発の避難計画を考える会」代理弁護士は7日、仙台地裁に12日に申し立てることを明らかにした。申立書では同市などが策定した避難計画で七つの課題を挙げ、「滞在で30キロ圏を脱出できない」「病院や高齢者施設入居者らの避難が困難」などと論証する。

が言及した「事前防災義務」に反すると強調。再稼働により「事故時に危険かつ困難な避難を強いられる」とし、地元同意による人格権の侵害を主張する。

市民団体の原伸雄代表は、「再稼働が差し迫る中、住民ができるところを考えて申し立てに踏み切った」と話した。